

# グラフ文書の作り方

2025-02-19 橋田

# Personaryアプリのインストール

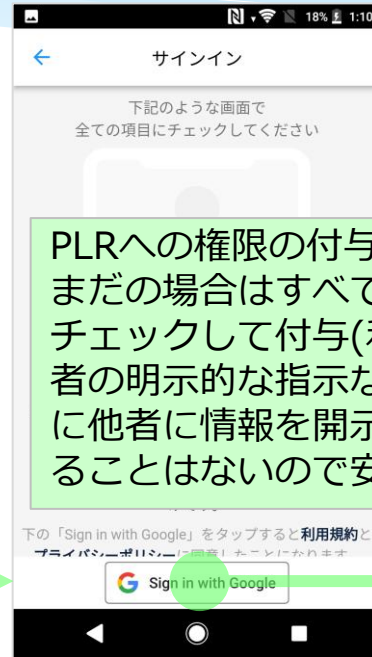
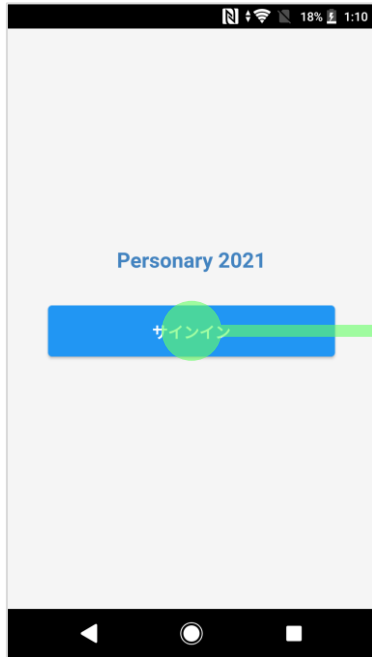
<https://www.assemblogue.com/apps/PLR2.html> または下記からインストール



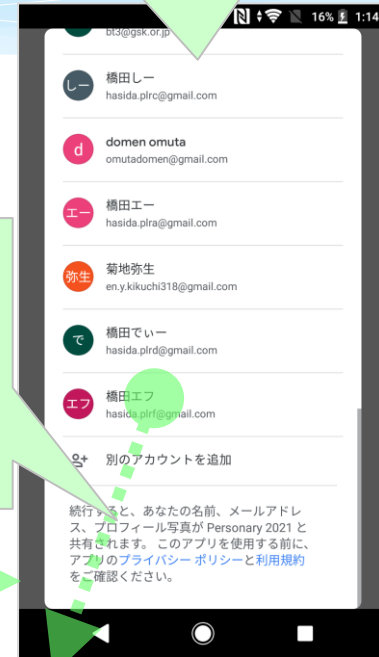
この資料にないPersonaryの機能については上記ページの[Personaryの使い方](#)を参照

# アカウント登録

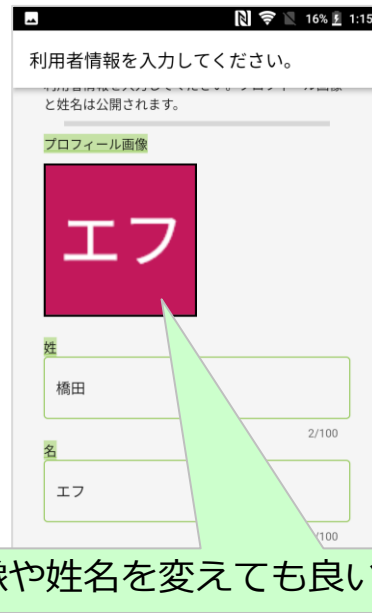
Googleアカウントを予め  
作っておく必要がある



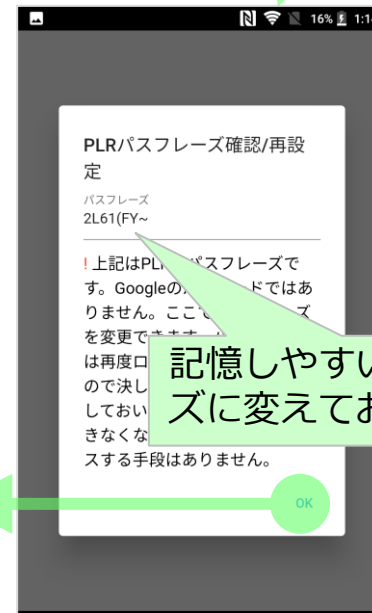
PLRへの権限の付与が  
まだの場合はすべて  
チェックして付与(利用  
者の明示的な指示なし  
に他者に情報を開示す  
ることはないので安全)



別のアカウントを追加  
続けること、あなたの名前、メールアドレス、プロフィール写真が Personary 2021 と共有されます。このアプリを使用する前に、アプリのプライバシーポリシーと利用規約を確認してください。



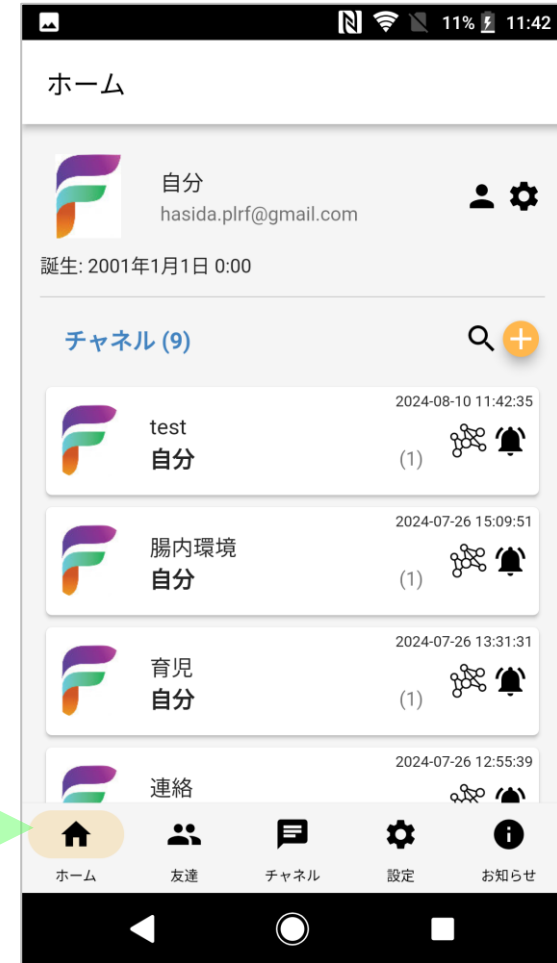
画像や姓名を変えても良い



記憶しやすいパスフレーズ  
に変えておくと良い

OK

# チャンネルの作成



# グラフの表示

personary

チャンネル (138)

- TEST  
自分, はした UT, 橋田 いち  
2024-01-20 21:58:17 (3)
- あるく2  
自分, はした UT, 橋田 いち, due  
2024-01-20 21:30:17 (4)
- 連絡  
自分, はした UT, Kan Noriko, 菅 紀子  
2024-01-20 20:12:29 (4)
- SIT2023共有  
橋田 浩一  
2024-01-19 14:42:59 (1)
- パーソナルAIとグラフ文書  
橋田 浩一  
2024-01-19 12:57:44 (1)
- 1 - 5 3班  
石原 直哉, 佐々木 柊羽, kohei.mujintou.03@gmail.com, すずき やまと, 内野 菜那, 伊藤 秀真, 小笠原 実咲, oremo ナオト, 秋月 寧音, orewa アツヤ, ... (21)
- graph data  
自分, 池本 昌弘, J S  
2024-01-18 14:11:39 (3)
- TEST  
橋田 彦, はした UT, 池本 昌弘, j-sasaki@another-ware.co.jp, A, 西垣 祥悟, ビ-エルナルナオ, 橋田 八, 西垣 九, 柴田 健一, 西垣 奈々  
2024-01-17 10:59:07 (11)
- 文書作成支援分科会  
文書  
2024-01-14 00:46:07 (1)
- 連絡2021  
2024-01-13 20:38:21

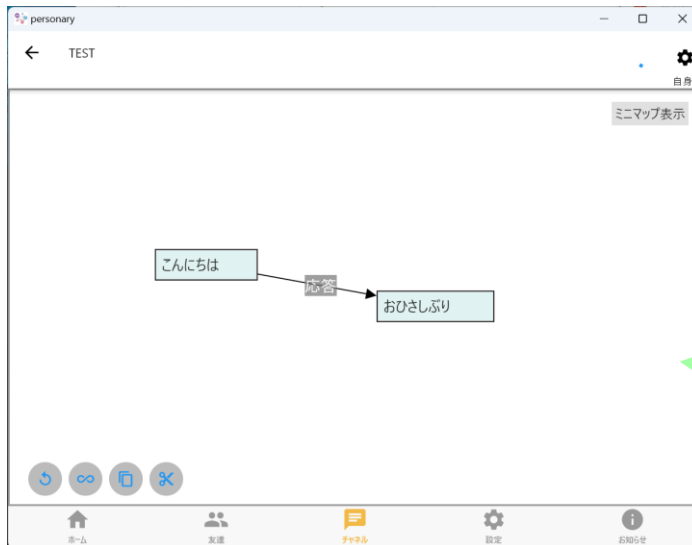
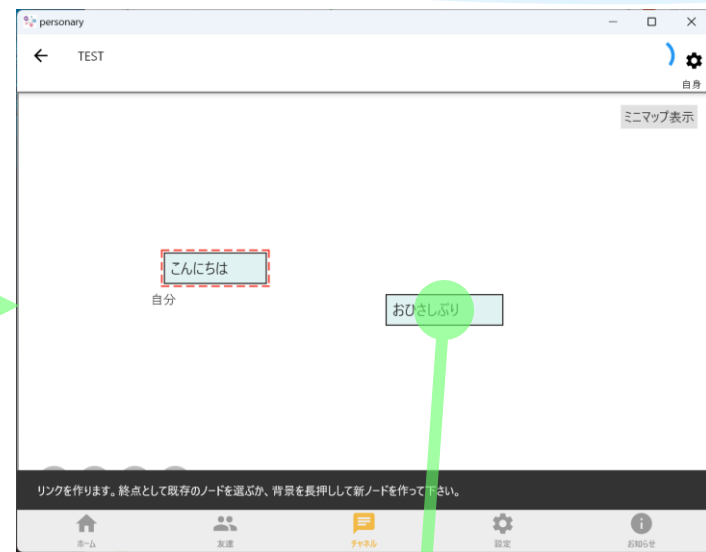
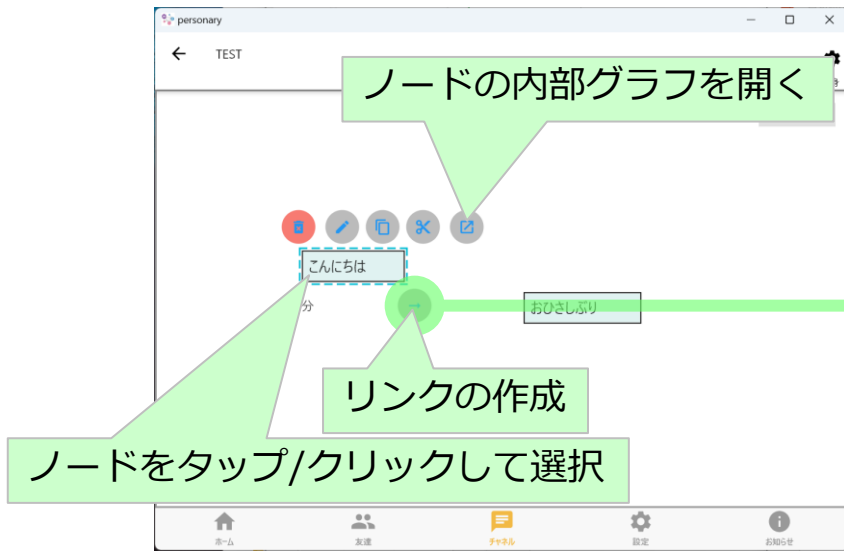
ホーム 友達 チャンネル 設定 お知らせ

AIとグラフ文書

ミニマップ表示

ホーム 友達 チャンネル 設定 お知らせ

# グラフの作成・編集



# 関係メニュー

リンクのラベルをクリック(タップ)すると右のような関係メニューが現われる。

種別：

部分全体関係	=	
	部分	
	要素	
	例	
談話関係	正付加関係	また
		具体論
	負付加関係	内容
		対照
		または相違
	順接	引起す
		だから
		すると
		目的
		ならば
	逆接	背景付与
		しかし
によらず		
対話行為	であつても	
	応答	
	はい	
	いいえ	
時間関係	解決案	
	の後に	
	同時	
他の関係	状況	
	対象	
	?	

キャンセル

リンクの削除

リンクの反転




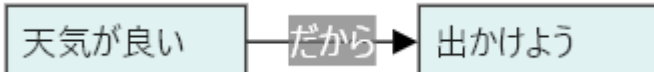
「全体」という関係はないので逆向きの「部分」を用いる

「原因」という関係はないので逆向きの「引き起こす」を用いる

「手段」という関係はないので逆向きの「目的」を用いる

始点が解消すべき問題ではなく目的である場合は逆向きの「目的」を用いる

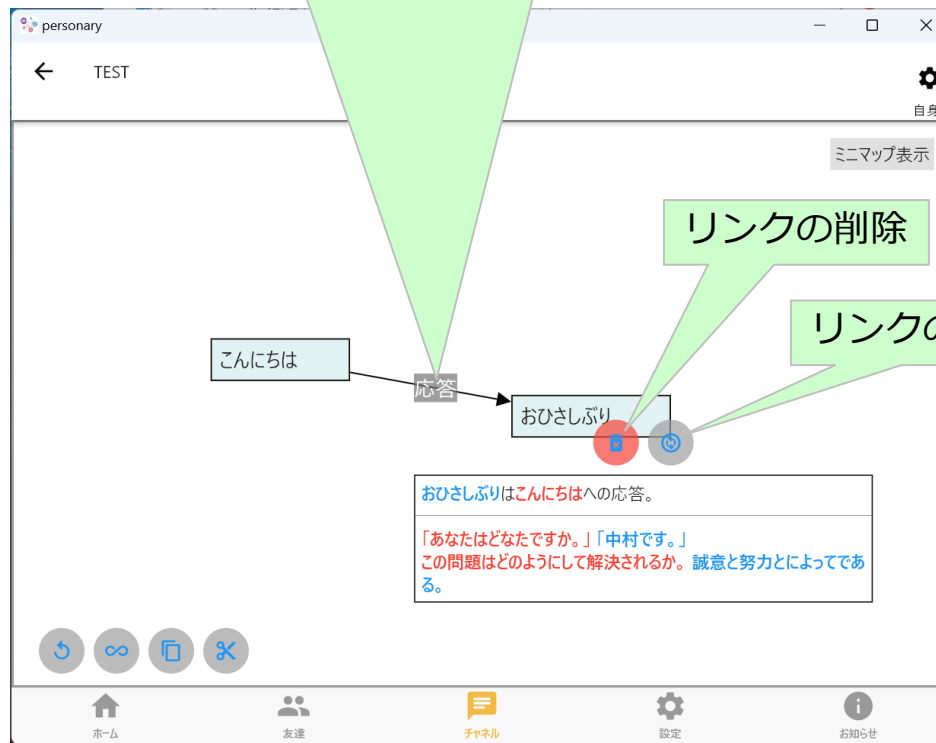
# 関係ラベルの種類

種類	ラベル	意味	例
名詞	部分、要素、例、 具体論、内容、目的、 応答、解決案、状況、 対象	ラベルは始点から見た 終点を表わす	「私は小説家じゃない」の具 体化が「詩人だ」。  
他動詞	引起す、背景付与	始点が主語、終 点が目的語	試験に合格したことが原因で 大喜びした。  
自動詞・ 形容詞	=、対照、相違、 同時	全端点が主語	3人が賛成したものと4人が反 対したことが対照的。  
接続詞等	また、または、だ から、すると、な らば、しかし、に よらず、…	始点とラベルと 終点を順に読ん だ意味	天気が良い。だから出かけよ う。  

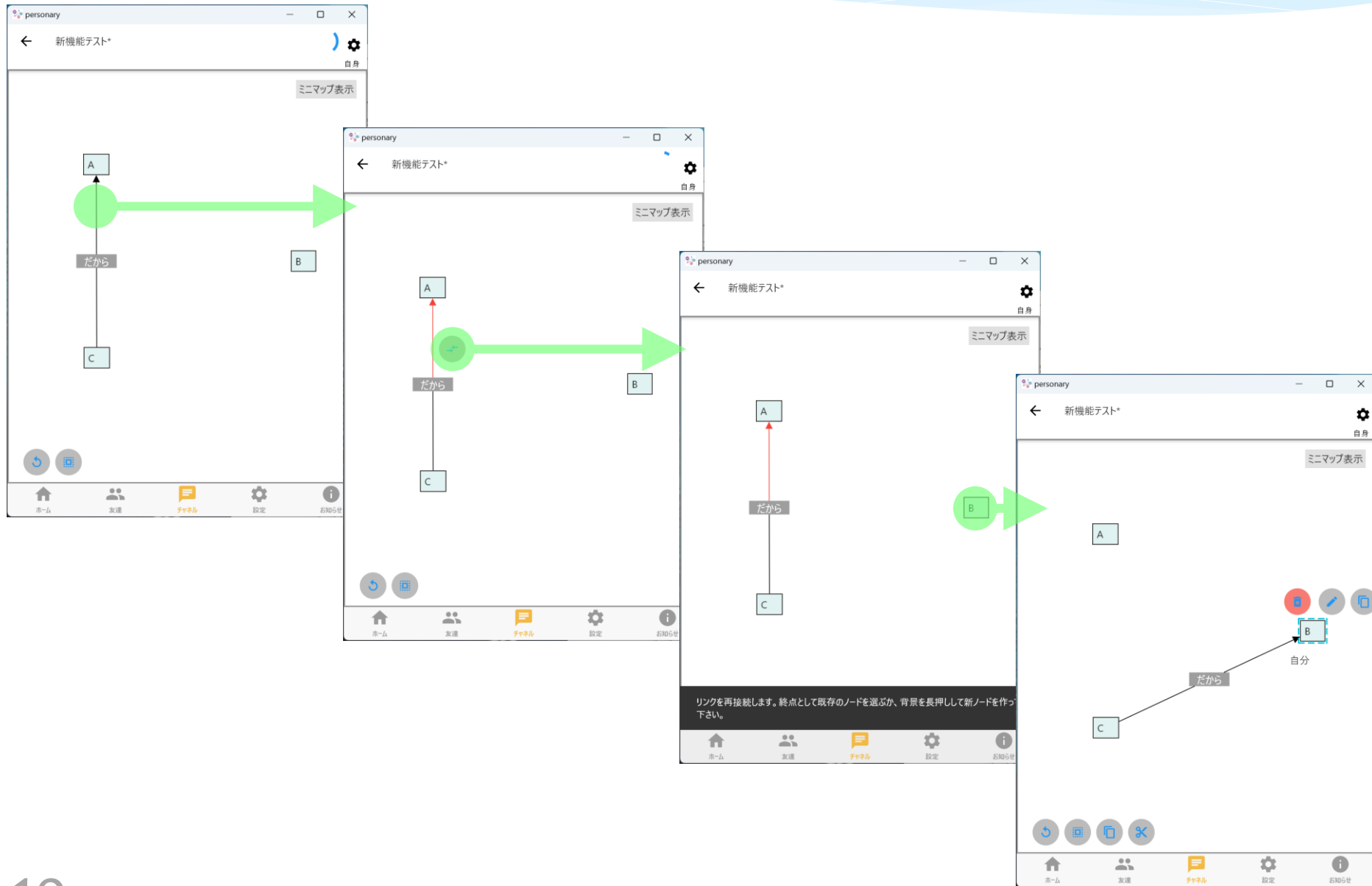


# リンクの操作

ラベルの長押しで下の説明と例とボタンを表示  
(デスクトップの場合はマウスオーバで説明と例を表示)

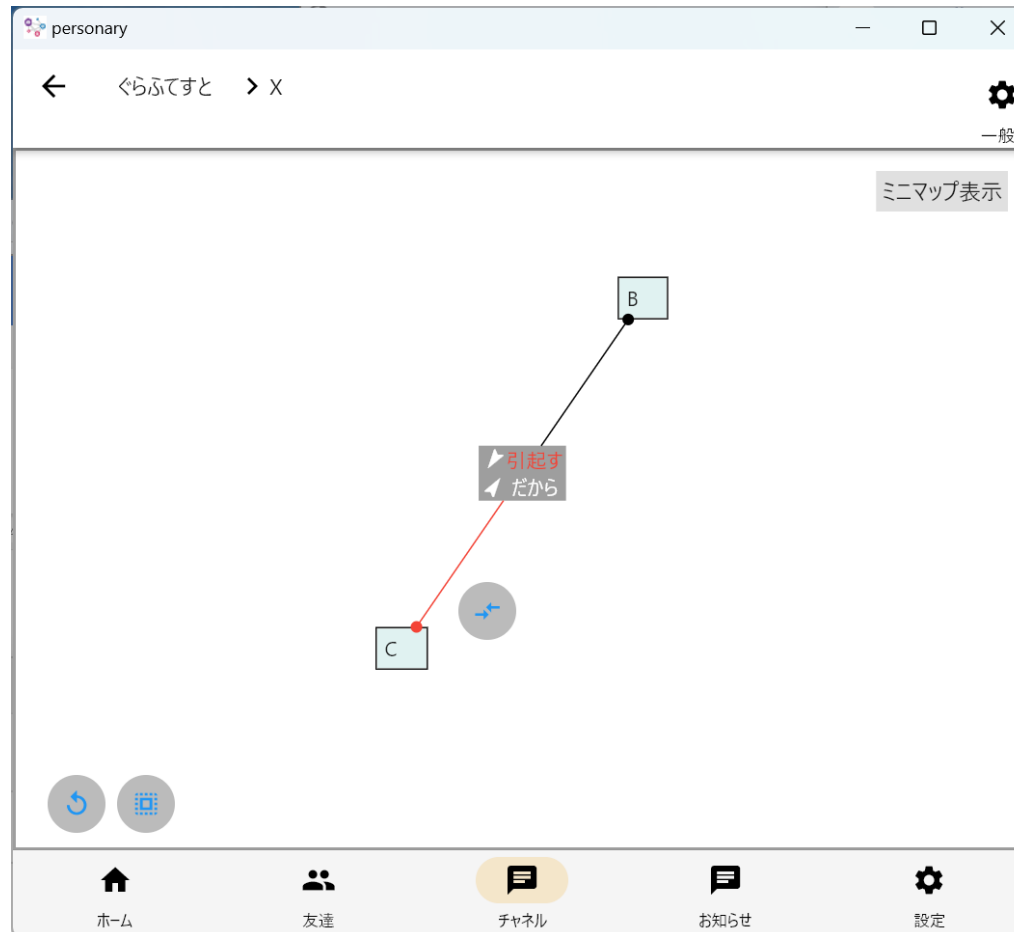


# リンクの端点の付け換え



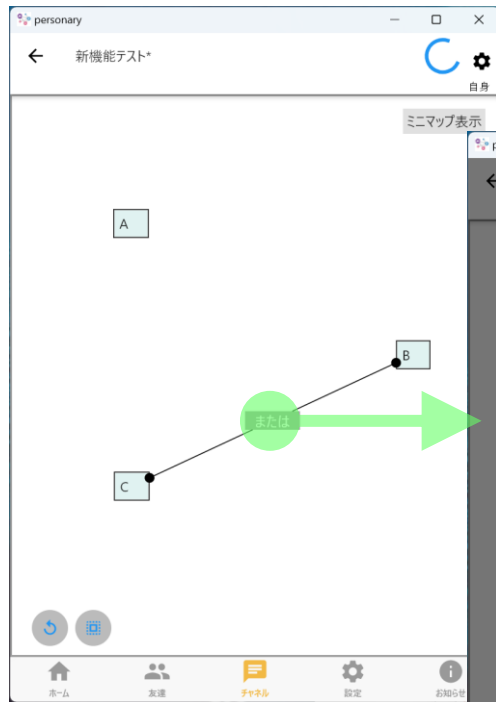
# 多重リンクの端点の選択

- 下図は「引起す」リンクの端点を選んだ状態
- 「だから」をクリックすると「だから」リンクの端点を選べる



# 対称な関係は端点を3個以上持てる

=、対照、または、相違、  
しかし、同時、？



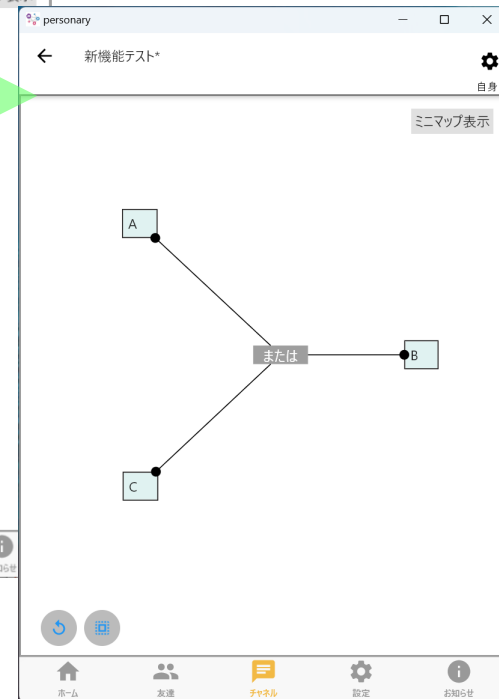
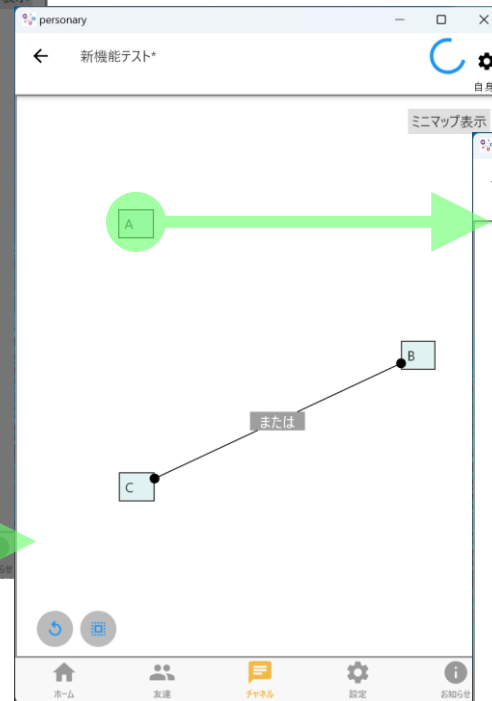
personary  
新機能  
自身  
ミニマップ表示

種別:

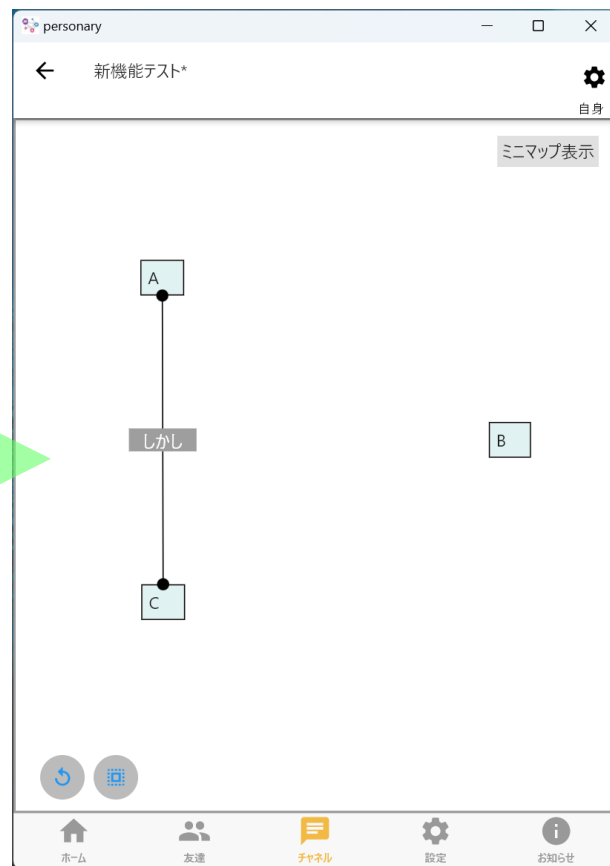
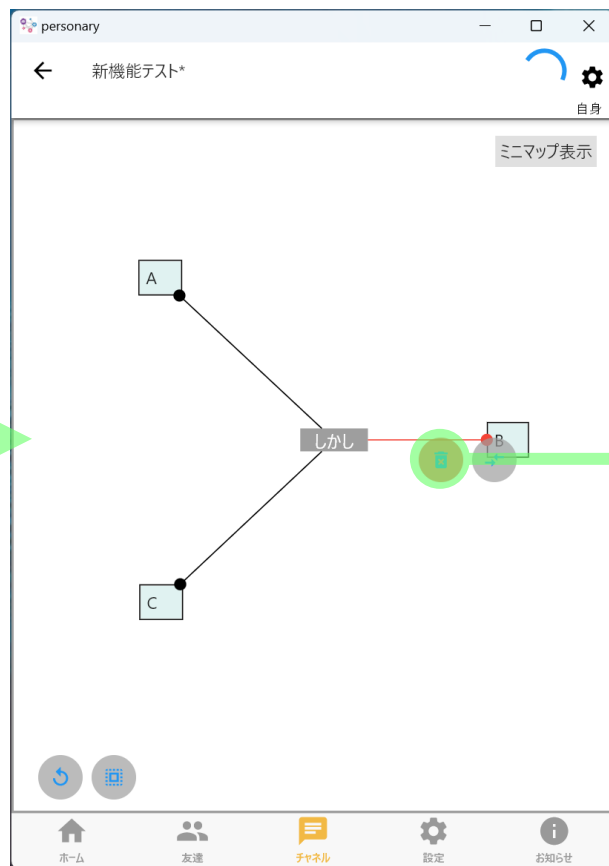
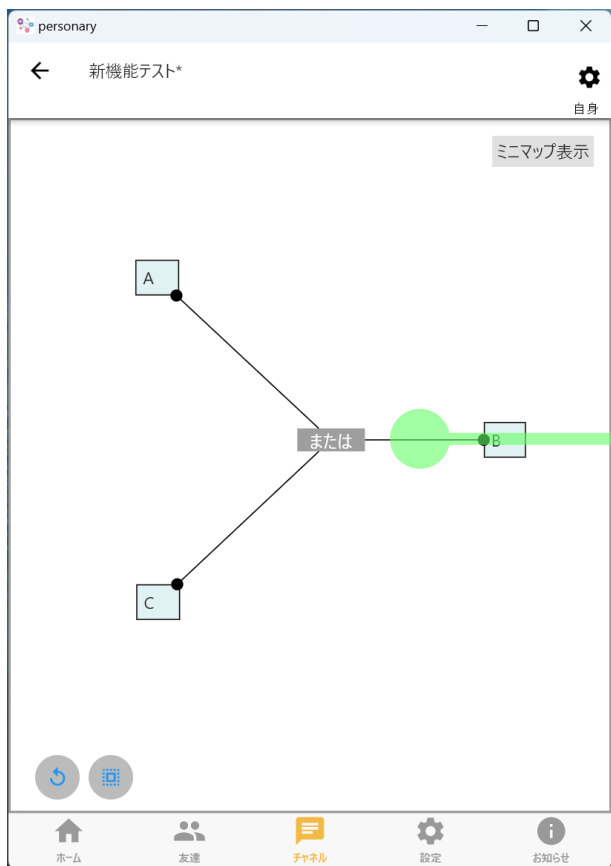
履歴

部分全体関係	=	また
	部分	具体論
	要素	内容
	例	対照
正付加関係		対照
負付加関係		または
		相違
談話関係		引起す
		だから
		すると
		目的
		ならば
		背景付与
		しかし
		によらず
		であっても
順接		
逆接		
対話行為	応答	
	はい	
	いいえ	
	解決案	
	後に	
時間関係	同時	
	状況	
他の関係	対象	
	?	

キャンセル



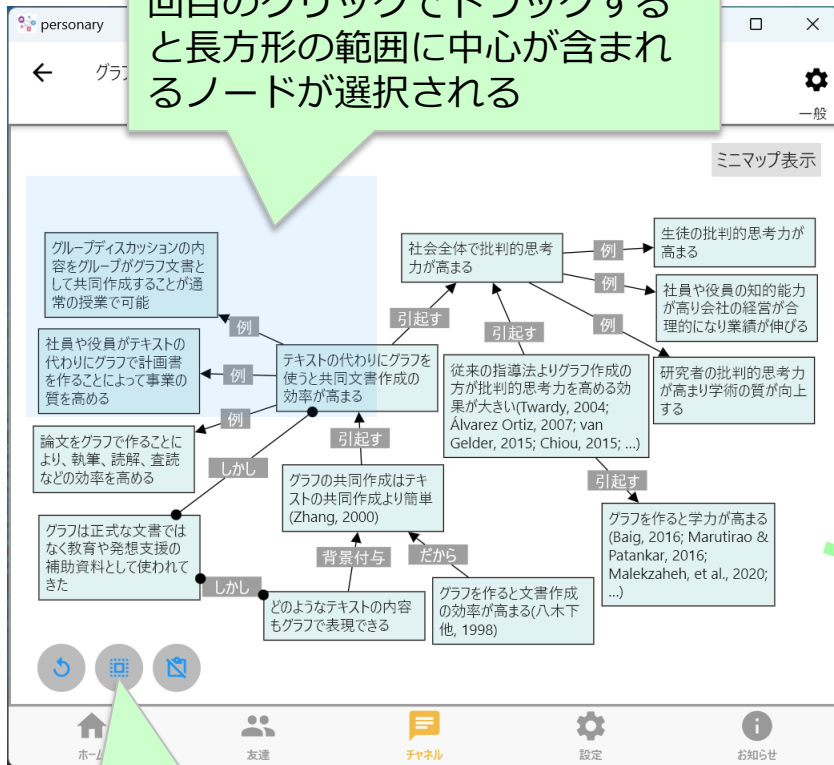
# 対称な関係の端点が3個以上なら削除可能





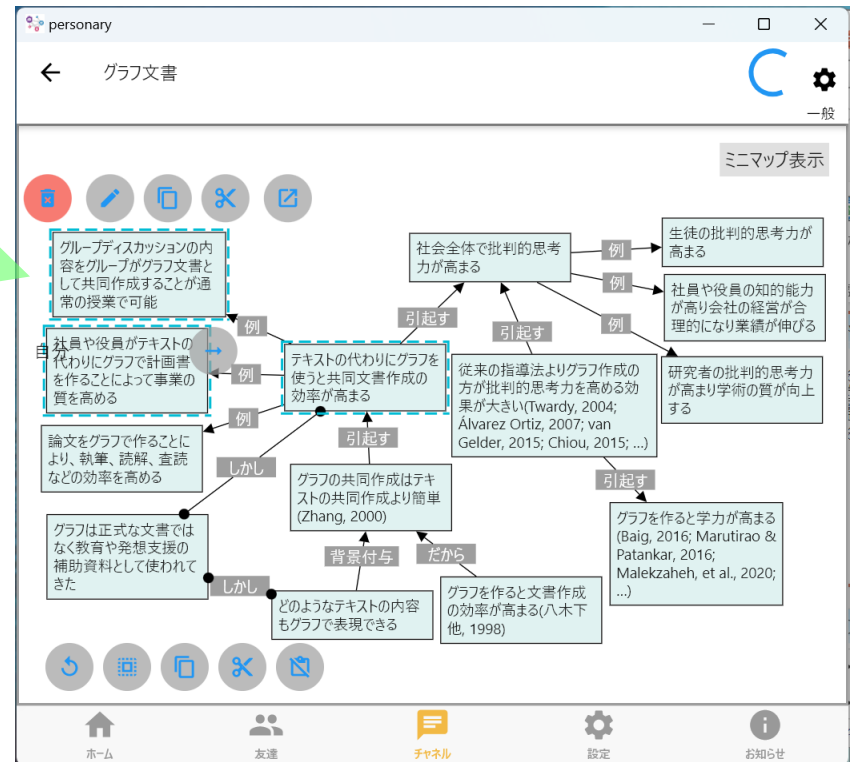
# 複数ノードの選択

ややゆっくり目に(0.5秒ぐらいの間隔で)ダブルクリックして2回目のクリックでドラッグすると長方形の範囲に中心が含まれるノードが選択される



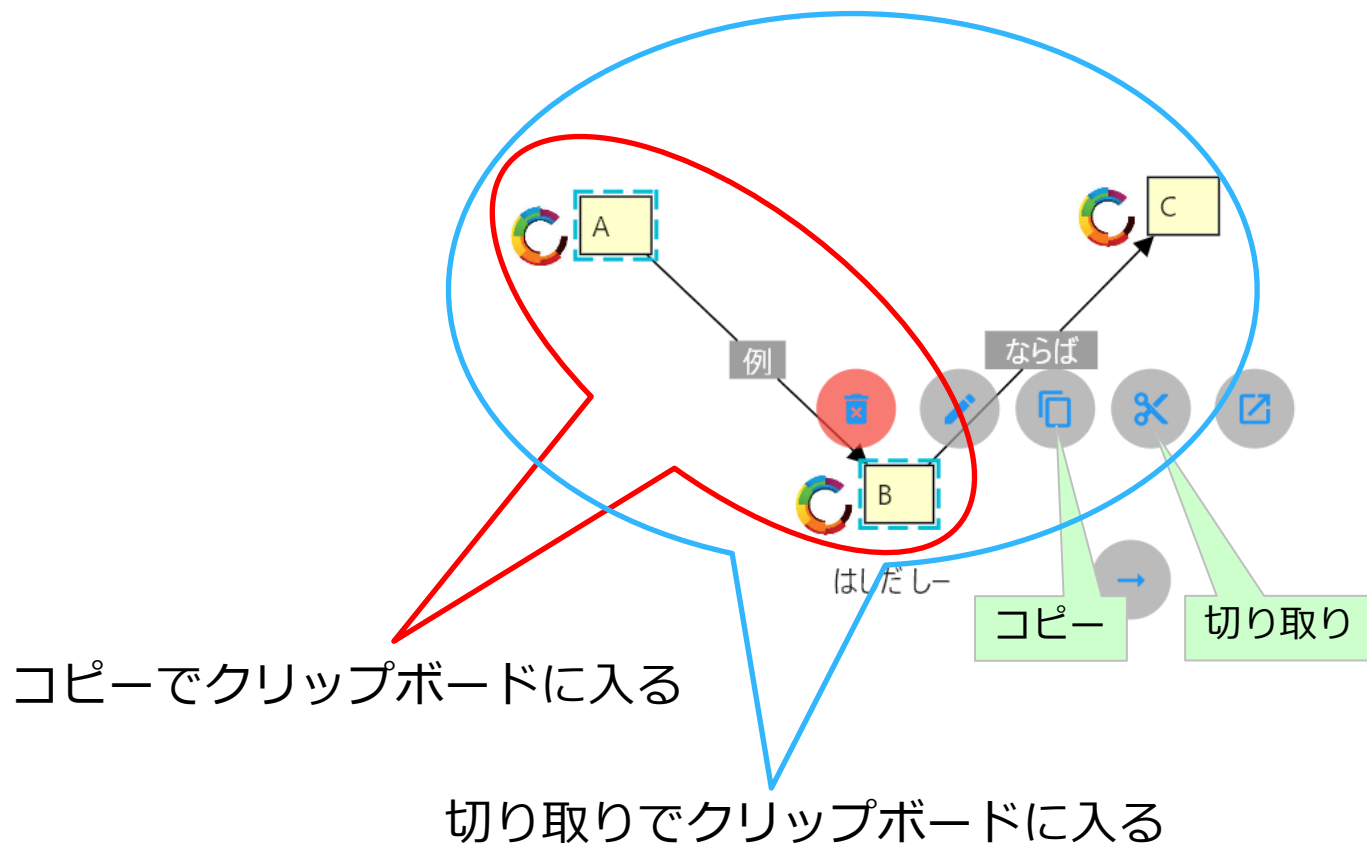
すべてのノードを選択

- ノードを次々に選択すると、それらすべてが選択される
- 背景をクリックしてから0.5秒間何もしないと選択がすべて解除される
- 選択されたノードを1個ドラッグすると、他の選択されたノードも一緒に動く
- ノードのコピーと切り取りも選択されたすべてのノードに関して行なわれる



# コピーと切り取り

- 選択したノードをコピーまたは切り取りできる。
- コピーの場合は、選択したノードだけでなく、端点がすべて選択されたリンクもクリップボードに入る。
- 切り取りの場合はさらに、端点が1つ以上選択されたリンクとそのリンクの他の端点もクリップボードに入る。





# 共有と複製

背景長押しにより現われるダイアログでクリップボードの内容を共有または複製できる。

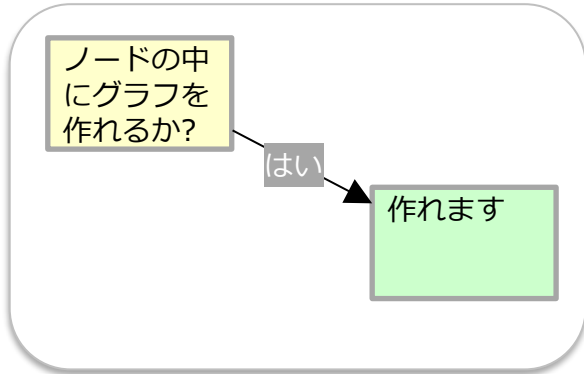


クリップボードを空にする

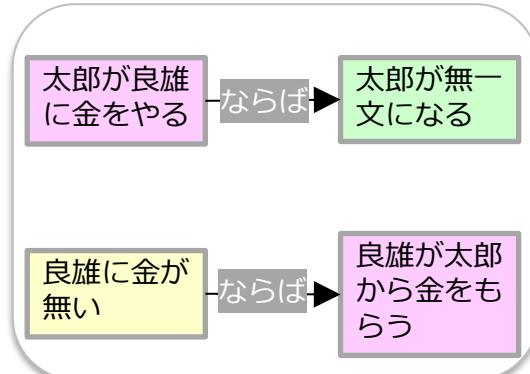
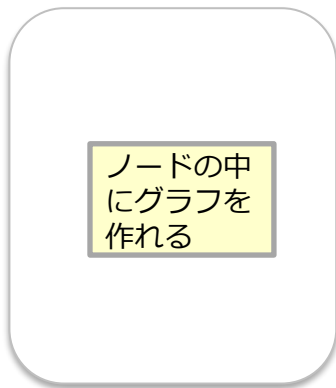
共有

複製

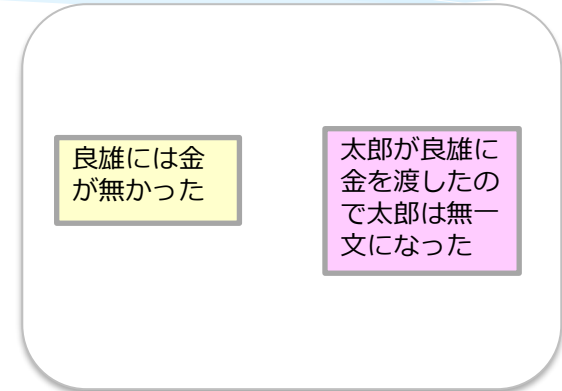
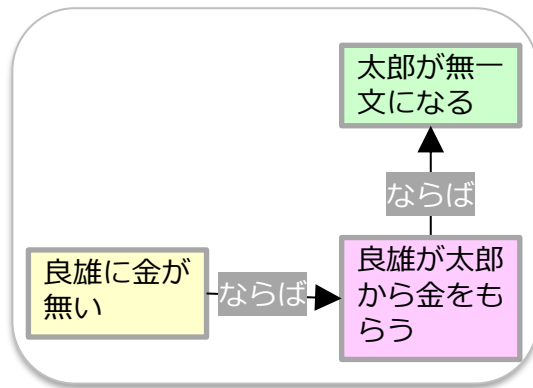
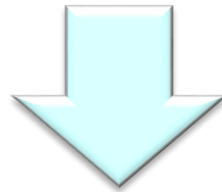
# グラフの整形



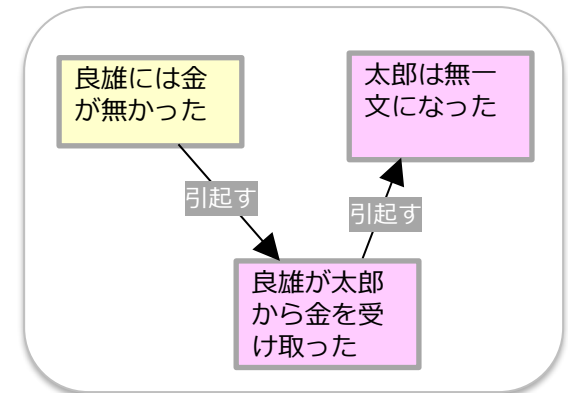
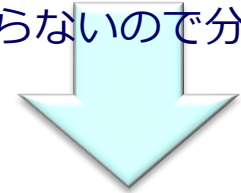
質問応答を縮約



同義のノード(ピンク)をまとめる

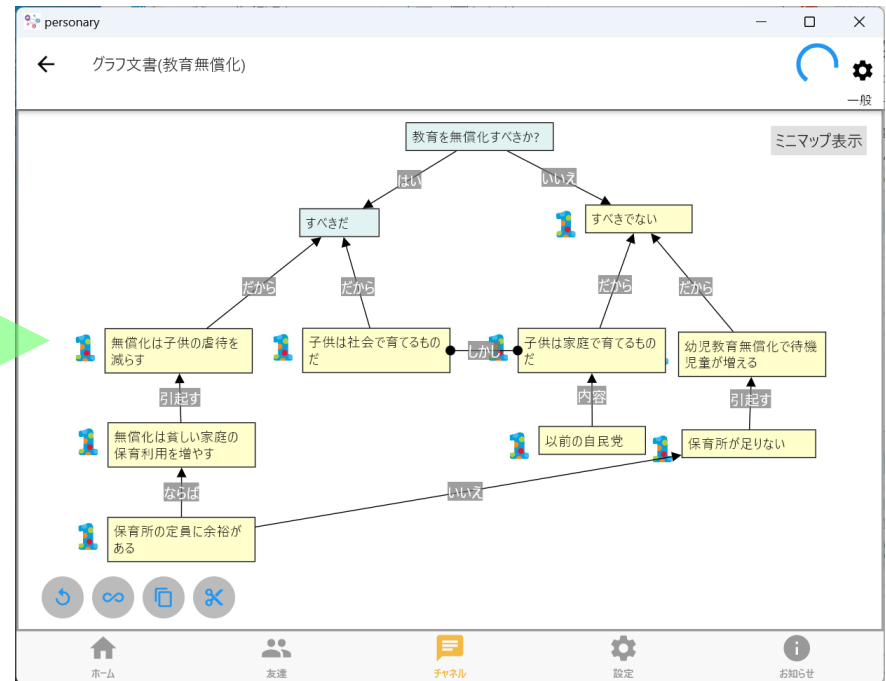
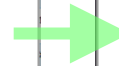
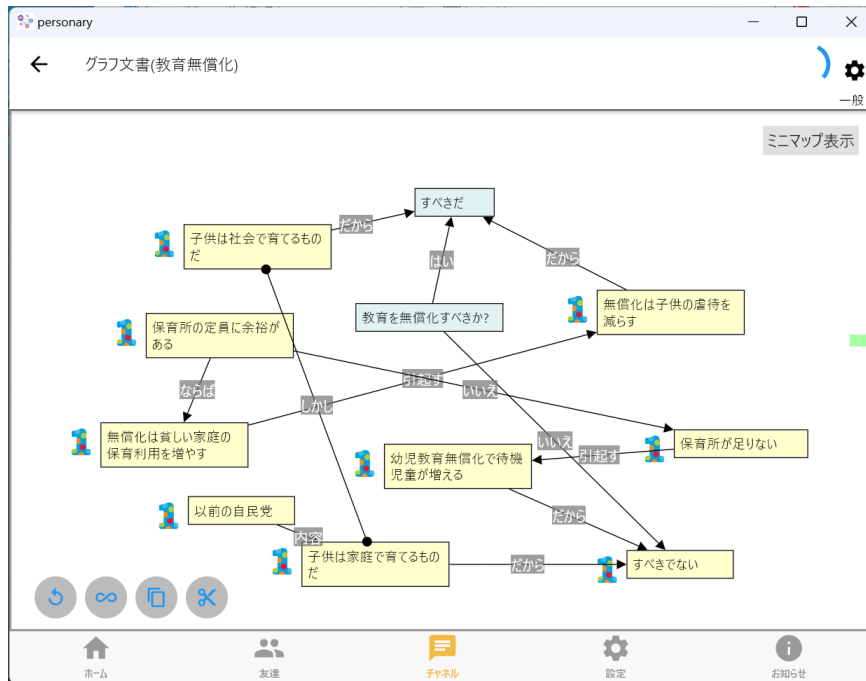


「太郎～なった」はそのままでは「良雄には金がなかった」とつながらないので分割



# グラフの整形(続)

- なるべくリンクが交差しないようにグラフを整形するとわかりやすくなる。
- 特に、右下のようにほぼ木構造にすると、主題(この場合は「教育を無償化すべきか?」)との関連性が上ほど強く下ほど弱いことが直観的にわかりやすく、編集しやすくなることが多い。

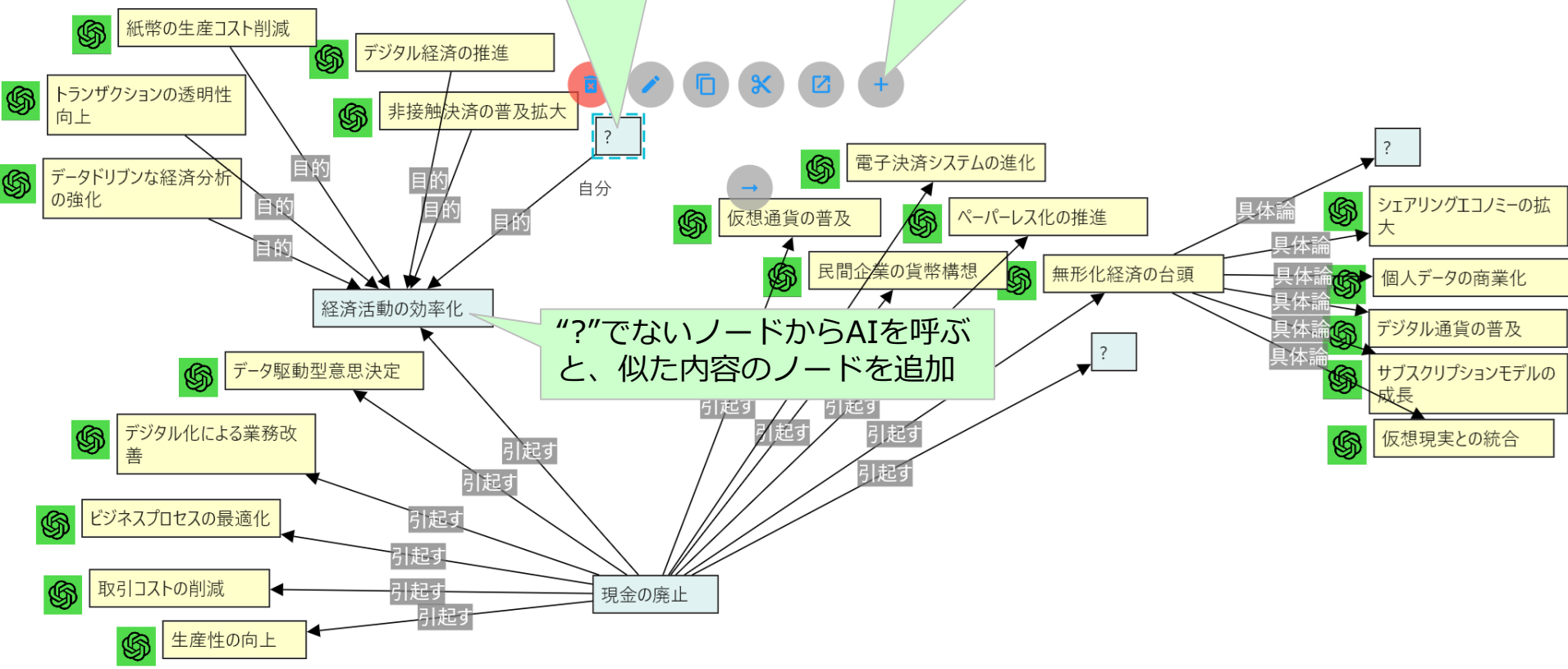


# AIがノードとリンクを追加

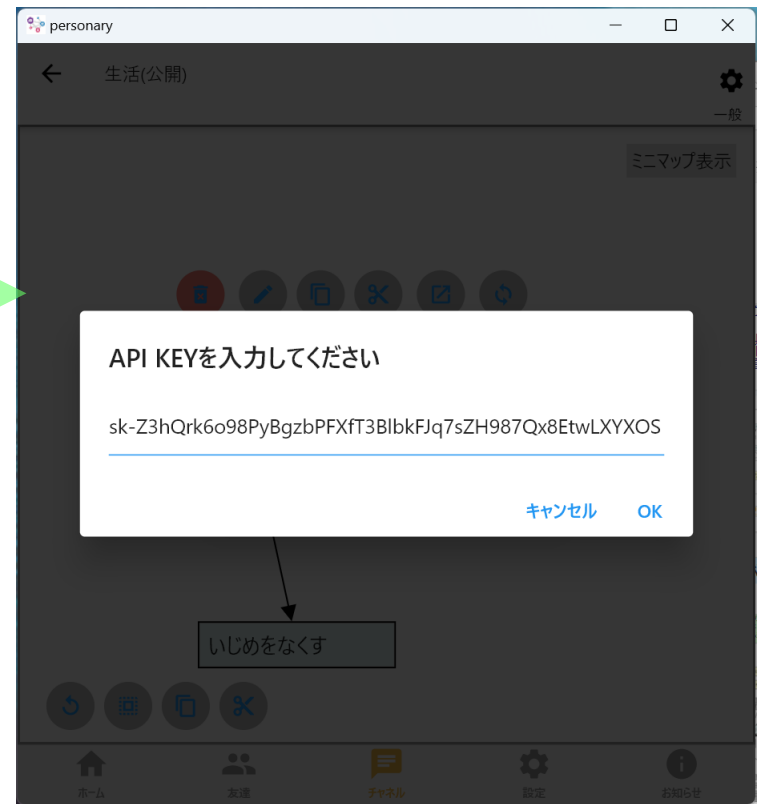
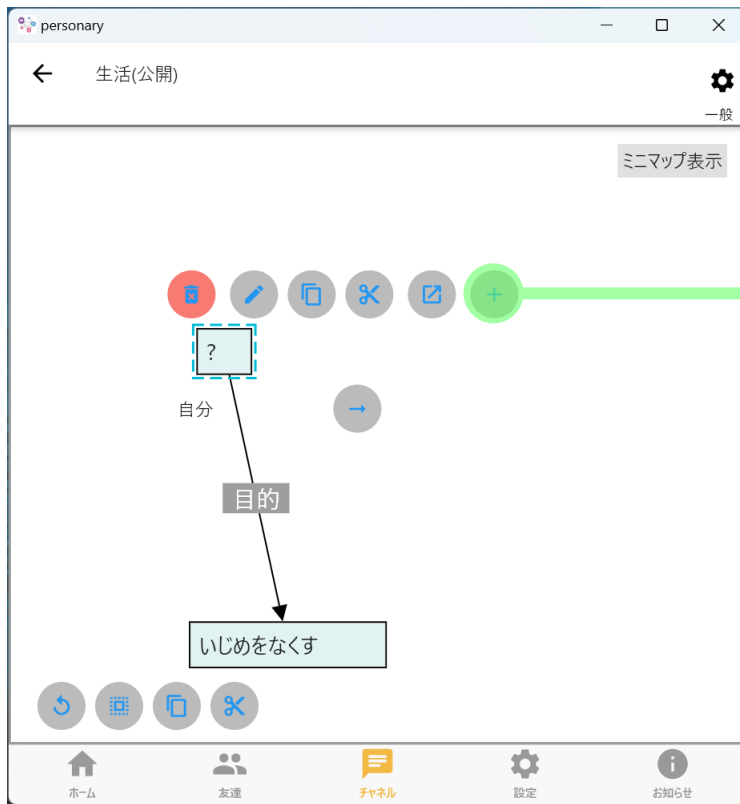
録画

内容が“?”のノードからAIを呼ぶと、そのノードと同様に他のノードとつながる新ノードを追加

AIを呼ぶ → 1分ぐらいでノードとリンクを追加



# AIを呼ぶにはAPIキーが必要



# AIの使い方

- あるノードが $n$ 本のリンクの端点のとき、そのノードからAIを呼ぶと $5n$ 本のリンクができる。
  - ◆ $n \geq 3$ だとリンクが錯綜してわかりにくくなる。
  - ◆AIを呼ぶのはなるべく $n \leq 2$ のときだけにする。
- AIが生成したノードの内容が気に入らなければそのノードを削除する。

# 動画

- [Personaryの使い方](#) 9:12
- [グラフ文書の作り方](#) 10:34
- [リンクのタイプ\(関係\)](#) 8:07